第3・4学年 国語科学習指導案

十津川村立十津川第一小学校 第3学年 6名 第4学年 4名 指導者 増谷 和子

【第3学年】

- 1 単元名 「せつめいのくふうについて話し合おう」 教材名 「すがたをかえる大豆」
- 2 指導について
 - (1) 児童について

略

(2) 教材について

本教材は、普段からよく食べている大豆を使った食べ物の食べ方や加工法について書かれている。児童にとって身近なものであるうえに、見た目だけでは原料が大豆とは分からない食品もあるため、興味をもって読み進めることができると思われる。大豆をおいしく食べるための工夫を5つの事例で説明している解説型の文章であるため、説明の中心となる言葉を見つけたり、筆者の説明の工夫に気づいたりするのに適した教材である。

(3) 指導について

略

3 単元の目標

○ 食べ物について書かれた読み物に興味を持ち、進んで読もうとしている。

(国語への関心・意欲・態度)

- 中心となる語や文をとらえ、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を理解することができる。 (読むこと)
- 段落相互の関係を示す手がかりとしての接続語の役割を理解することができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
① 教材文や自分が興味を持っ	① 中心になる語や文を確かめ	① 接続語の役割を理解してい
た食べ物の本を、進んで読もう	ながら、説明されていることを	る。(イ (ク))
としている。	整理している。(イ)	
	② 事例の順序から、筆者の	
	意図を考えている。(イ)	

5 単元の指導と評価の計画(全6時間)

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
1	1	○ 題名読みをする。	題名から想像させ興味を	大豆がさまざまな食べ方を
		○ 本文を読み、わかったこ	持たせる。	されていることに関心をもっ
		とや感想を書く。	・ 実物や写真を見せ、意欲	ている。
		○ 「食べ物へんしんブック	を持たせる。	ア① (発言・ノート)
		を作ろう」という次教材へ		食べ物について書かれた本
		続くめあてをもち、学習計		を進んで読んでいる。
		画をたてる。		ア①(並行読書)
2	2	○ 文章全体の組み立てを考	P36の表を参考にして	「問い」のない話題提示の
		える。	考えさせる。	仕方を知り、筆者の書き方の
		○ 「はじめ」(①~②段落)	・ 既習教材の問いの文や文	工夫を読み取っている。
		を読み、問いの文を考える。	章の組み立てを示す。	イ② (発言・ワークシート)
		○ 筆者の書き方のコツを探	大豆を詳しく紹介してい	
		す。	ること、問いかけをしてい	
		, 0	ることに気づかせる。	
	3	○ 「中」(③~⑦段落) に書	 ・ 写真と文章を照らし合わ	 説明されている内容を、表
		かれている内容を整理す		にまとめている。
		る。	る。	イ① (ワークシート)
		○ 筆者の書き方のコツを探	・ 1 文目に工夫を書いてい	
		す。	ること、2文目から手の加	
		, 0	え方を書いていること、写	
			真を使っていることに気づ	
			かせる。	
			~ C 00	
	4	○ 「中」(③~⑦段落)が、	 ・ 事例の順番を入れ替えた	手をあまり加えていないも
	本	なぜこの順番に書かれてい		のから順に書かれていること
	時	るのか考える。		に気づいている。
		○ 「ひく」「すりつぶす」等	 ・ 次教材で使えるよう掲示	イ② (ワークシート)
		の手を加えるときの言葉を	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
		集める。		
	5	○ 「終わり」(⑧段落)を読	・ 文末表現に着目させ、理	タくの食べ方が考えられて
		み、書き方のコツを探す。	由や感想の言葉をとらえさ	きた理由や感想が書かれてい
			世る。	ることに気づいている。
			C 00	イ② (ワークシート)
3	6		どの言葉や文を強く読む	中心となる言葉や文を強調
		がよく分かるように音読す	と内容が伝わりやすいか考	して読んでいる。
		る。 	えさせる。	イ① (音読)
		。 ○ 筆者の書き方のコツをま	・ 接続語に着目させる。	「次に」「また」「さらに」
		とめる。	・ P38「絵や写真を使っ	「このように」の役割を理解
		C √2.00	て説明する」を見て、写真	している。
			の使い方を考えさせる。	ウ① (ワークシート)
			ツ灰リカを与んさせる。	7 (2 7 2 T)

【第4学年】

- 1 単元名 「段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう」 教材名 「アップとルーズで伝える」
- 2 指導について
 - (1) 児童について

略

(2) 教材について

本教材は、映像や写真を撮るときに用いる「アップ」と「ルーズ」という二つの映像技法が、送り手の目的によって意図的に組み合わされていることを説明している。テレビは、子どもにとって身近なメディアであるため、興味をもって読み進めることと思われる。文章と対応させた写真を使って具体的に説明しており、「アップ」と「ルーズ」という映像技法を対比して説明することで相違点を明確に伝えているため、筆者の説明の工夫がわかりやすい。また、「アップ」と「ルーズ」という二つの事柄を述べた後、それを受けてまとめをするという構成になっているため、段落相互の関係から文章全体における段落の役割を考えるのに適した教材である。

(3) 指導について

略

3 単元の目標

○ 話題に興味をもち、写真と文章を対応させて内容を読もうとしている。

(国語への関心・意欲・態度)

- それぞれの段落が、全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。 (読むこと)
- 指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手がかりになることを理解することがでる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 言語についての 知識・理解・技能
① 写真と文章を対応させて、説	① それぞれの段落の役割	① 指示語や接続語が、文や
明的文章に興味をもって読も	を、本文の内容から理解して	段落の関係を示す手がかりに
うとしている。	いる。(イ)	なることを理解している。
	② 写真と本文の対応関係を理	(イ (ク))
	解している。(イ)	

5 単元の指導と評価の計画(全6時間)

次	時間	日等と評価の計画(至り時间) 学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
1	1	○ 題名読みをする。	題名から想像させ興味を	「アップ」と「ルーズ」の
	1	○ 「アップ」と「ルーズ」の	持たせる。	意味を理解し、興味をもって
		意味を知る。	・ カメラの撮影技法として	教材文を読んでいる。
		○「十一小リーフレットを		ア① (観察)
		作ろう」という次教材へ続	意味をおさえる。	/ C (Buzz)
		くめあてをもち、学習計画	NEVICE 40 C/C 0°	
		をたてる。		
		272 (30)		
	2	○ 全文を読む。	・「アップ」についてのこ	写真とどの段落が対応して
		·· -	とか「ルーズ」についての	いるのかを理解している。
		る写真がない理由を話し合	ことかという視点をもたせ	イ②(教科書・ノート)
		う。	- こい こ ・	
			・ 写真と文章を対応させな	
			がら読ませる。	
2	3	○ ①②段落に書かれている	・ 写真を並べて提示し、二	3段落までの段落相互の関
		アップとルーズで写される	つの段落を対比し、相違点	係を理解している。
		様子について、二つの段落	を考えさせる。	イ① (ノート)
		を対比して読む。	アップとルーズを上下に	
		○ ③段落がまとめであるこ	整理して提示することで、	
		とと、問いの文を確認する。	③段落の役割に気づかせ	
	4	○ ④⑤段落に書かれている	・ 写真を並べて提示し、二	4~6段落までの段落相互
	本	アップとルーズについて、	つの段落を対比し、相違点	の関係を理解している。
	時	二つの段落を対比して読	を考えさせる。	イ①(ワークシート)
		む。		
		○ アップとルーズの相違点	内容の相違点が明確にわ	「このように」という言葉に
		を表にまとめる。	かるよう、対比した文を表	着目して段落の関係を考えて
		○ ⑥段落とのつながりを考	に整理する。	いる。
		える。		ウ① (発言)
	5	○ 結論はどの段落に書かれ	語や文のつながりを押さ	
		ているか話し合う。	える。	文章全体の構成を理解して
		○ ⑦⑧段落の内容を読み、	・新聞を見せ、⑦段落の理	いる。
		それぞれの段落の役割を考	解につなげる。	イ① (ワークシート)
		える。	尾括型であることを押さ	
L			える。	
3	6	○ 文章構成図を考える。	・ 今までの学習内容を示	筆者の説明の工夫に気づ
		○ 筆者の説明の工夫をまと	す。	き、まとめている。
		める。	・ 文章構成図のモデルを示	ウ① (ワークシート)
		○ 新聞や雑誌の写真を見	し、選択させる。	
		て、作り手の意図を考える。	・ 次教材で活用できるよ	
			う、掲示しておく。	
	I		1	1

6 本時案

- (1) 目標
 - 3年生 筆者の説明の工夫を見つけることができる。
 - 4年生 第6段落までの段落相互の関係を理解することができる。
- (2) 展開

3年生 学習活動と指導上の留意点	動き	4年生 学習活動と指導上の留意点
1 詩を読む。○ はっきりした発音で読ませる。		1 詩を読む。○ はっきりした発音で読ませる。
2 本時のめあてを確認する。○ 学習計画表を確認させる。		2 本時のめあてを確認する。○ 学習計画表を確認させる。
なぜ、教科書の順番に書かれているのか 考えよう。		3 教材文を音読する。○ ペアで読ませる
3 食べ物クイズをする。○ 係の児童に出題させながら、黒板に写真を貼らせる。		4 本時の学習の流れを知る。
 4 教科書に書かれている順番を確認する。 ○ 食べ方のくふうの文を提示し、前時の学習内容を想起させる。 ○ 事例の順番を入れ替えて提示し、接続語に注目させる。 5 なぜ、教科書の順番に書かれているか考え、ワークシートにまとめる。 ○ 難しい児童は、手をあまり加えていない順に書かれていることのみを書かせる。 		5 アップとルーズの伝えられること、伝えられないことをまとめる。○ 写真と対応させながら書かせる。○ 分かることを赤、分からないことを黒で線を引いてから、まとめさせる。○ 指さし読みをして確認させる。
6 手を加えるときの言葉をさがしながら、教材文を音読する。 ○ ペアで読ませる。 ○ 見つけた言葉の意味を調べさせる。 ○ 見つけた言葉は、次教材で使えるよう掲示しておく。		6 伝えられること、伝えられないこと、両方の文が必要な理由を考え、ノートにまとめる。 ○ ⑥段落の1文目を間違えたしかけ文を提示し、④⑤段落とのつながりを考えさせる。 ○ ペアで説明し合ってから、書かせる。 ○ 書き出しのヒントを提示し、続きを書けるようにする。
7 本時の振り返りをする。		7 本時の振り返りをする。

< 評価 >	< 評価 >
手をあまり加えていないものから順に書か	4~6段落までの段落相互の関係を理解
れていることに気づいている。	している。
イ② (ワークシート)	イ① (ワークシート)
	「このように」という言葉に着目して段落
	の関係を考えている。
	ウ①(発言)